

水源の状況と天候の見通し (12月～2月)

1	東海地方の天候 (11月)	1
2	ダム地点の降水量 (11月)	1
3	水源の状況と天候の見通し	2
	(1) 水源の状況	2
	(2) 東海地方の3か月予報 (12月～2月)	4

令和6年12月4日



公益財団法人 愛知・豊川用水振興協会

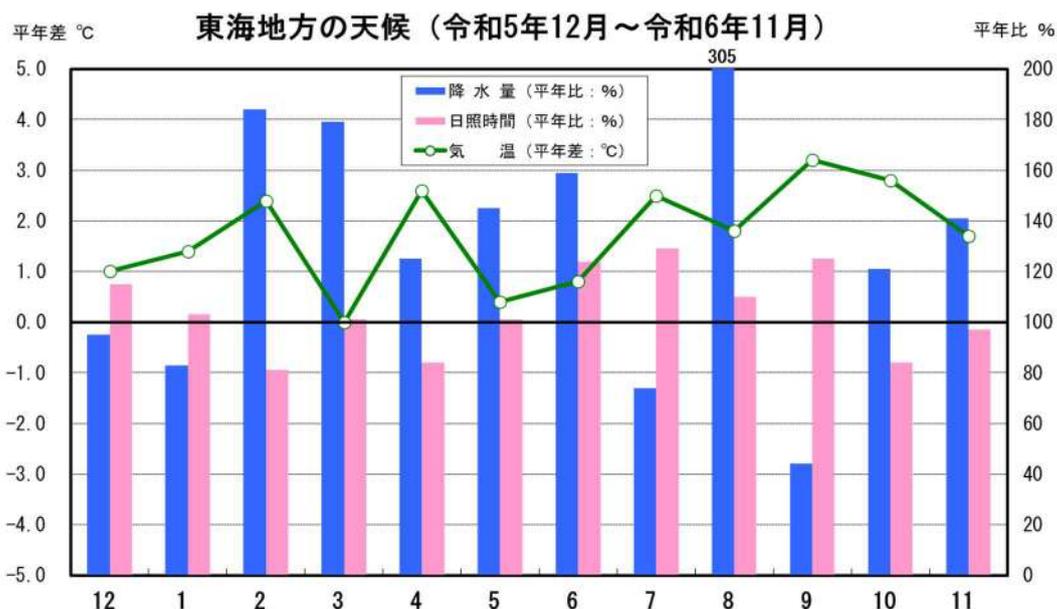
[\(https://www.aitoyo.or.jp/\)](https://www.aitoyo.or.jp/)

1 東海地方の天候(11月)

天気は数日の周期で変わり、高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、低気圧や前線の影響で大雨となった日もあったため、月降水量は多くなりました。一時的に寒気が入り気温の低い日もありましたが、月を通して寒気の影響を受けにくかったため、月平均気温はかなり高くなりました。

月平均気温は「かなり高い」、月降水量は「多い」、月間日照時間は「平年並」となりました。

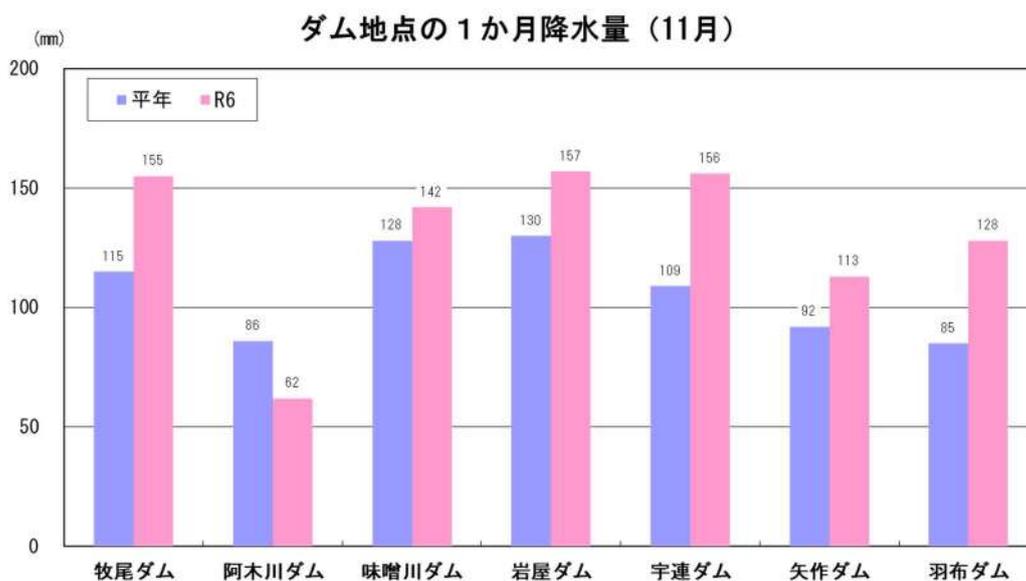
(名古屋地方気象台 令和6年12月3日発表資料を基に作成)



名古屋地方気象台発表資料を基に作成 (14地点の平均)

2 ダム地点の降水量(11月)

ダム地点の1か月の降水量は、7地点の平均で平年比123%となりました。



3 水源の状況と天候の見通し

(1) 水源の状況

令和6年11月30日現在のダム貯水率は、次表のとおりです。

当協会のホームページにおいて、以下の情報を掲載していますので、ご覧ください。

「あいとよネット」で検索
[\(https://www.aitoyo.or.jp/\)](https://www.aitoyo.or.jp/)

★ダム貯水量曲線

★水源の状況と天候の見通し(3か月予報) [月1回更新]

木曽川、豊川、矢作川水系のダム貯水率

R6. 11. 30

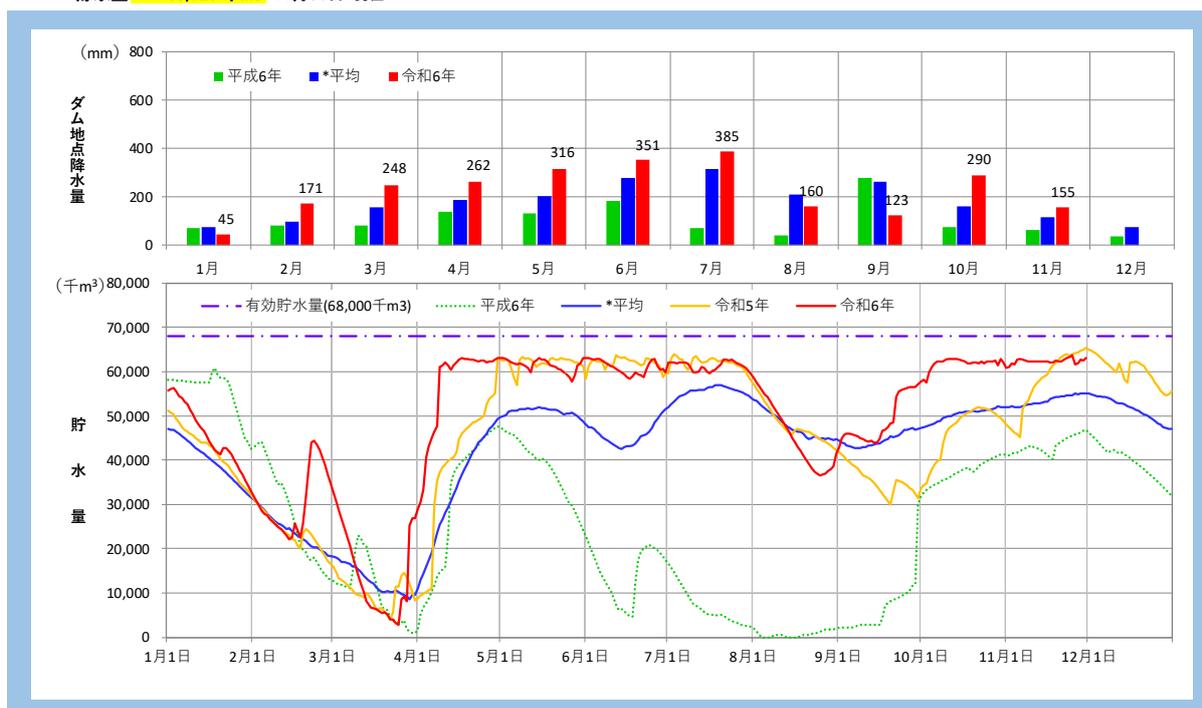
水 源	利水容量 (千m3)	貯 水 量 (千m3)	貯水率 (%)	平年貯水率 (%)	平年との差 (%)
木曽川水系					
牧尾ダム	68,000	63,026	92.7	81.1	+ 11.6
阿木川ダム	22,000	22,000	100.0	90.7	+ 9.3
味噌川ダム	31,000	31,000	100.0	95.8	+ 4.2
岩屋ダム	61,900	61,900	100.0	95.2	+ 4.8
豊川水系					
宇連ダム	28,420	26,920	94.7	74.0	+ 20.7
豊川用水全体	51,820	49,709	95.9	83.2	+ 12.7
矢作川水系					
矢作ダム	65,000	21,300	32.8	51.7	△ 19.0
羽布ダム	18,461	17,850	96.7	69.4	+ 27.3

注) 貯水率は、当日の24時(木曽川・豊川)または9時(矢作川)の値

貯水量曲線は、ホームページ「ダム貯水率」及び、「ダム貯水量曲線」に掲載

牧尾ダムの貯水量曲線

貯水量 **63,026 千m3** 11月30日 現在



*平均: 昭和37年1月から令和5年12月

(データ提供: 独立行政法人水資源機構愛知用水総合管理所 URL <https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/>)

豊川用水全体の貯水量曲線

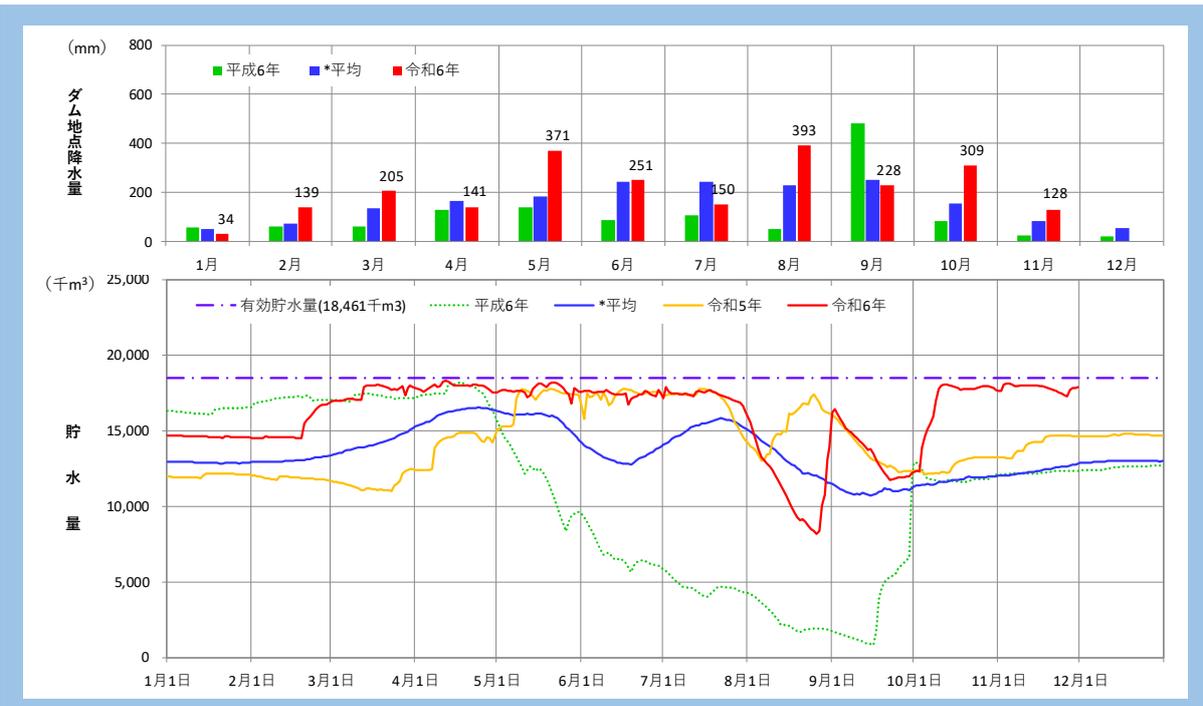
貯水量 **49,709 千m3** 11月30日 現在



*平均:平成14年4月から令和5年12月(雨量は昭和43年4月から令和5年12月)
 (データ提供:独立行政法人水資源機構豊川用水総合事業部URL <https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/>)

羽布ダムの貯水量曲線

貯水量 **17,850 千m3** 11月30日 現在



*平均:昭和39年1月から令和5年12月
 (データ提供:愛知県西三河農林水産事務所用水管理課)

(2)東海地方の3か月予報(12月~2月)

(名古屋地方気象台 令和6年11月19日発表資料を基に作成)

① 気温

東海地方の3か月全般(12月~2月)の平均気温は、下図のように、低い確率が30%、平年並が40%、高い確率が30%の予報となっています。

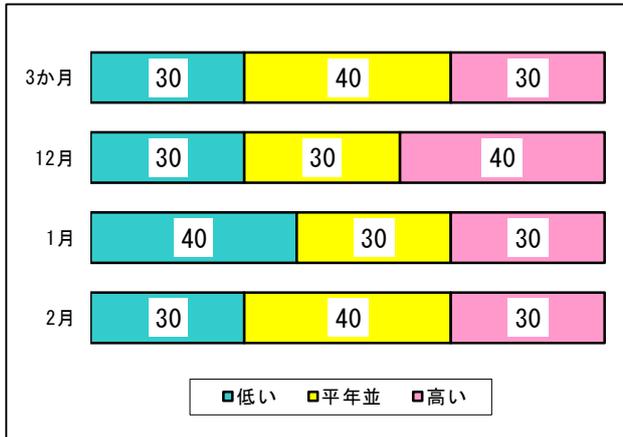


同様に、12月から2月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、気温の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、気温は、3か月全般で[0]、12月は[+1]、1月は[-1]、2月は[0]となります。

気温の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

気 温 等 級	予報確率	3か月			
		12月	1月	2月	
高 い	+5	: :70			
	+4	: :60			
	+3	: :50			
	+2	20:40:40			
	+1	30:30:40		●	
平 年 並	0	●		●	
	-1	40:30:30		●	
低 い	-2	40:40:20			
	-3	50: :			
	-4	60: :			
	-5	70: :			

② 降水量

東海地方の3か月全般（12月～2月）の降水量は、下図のように、少ない確率が40%、平年並が40%、多い確率が20%の予報となっています。

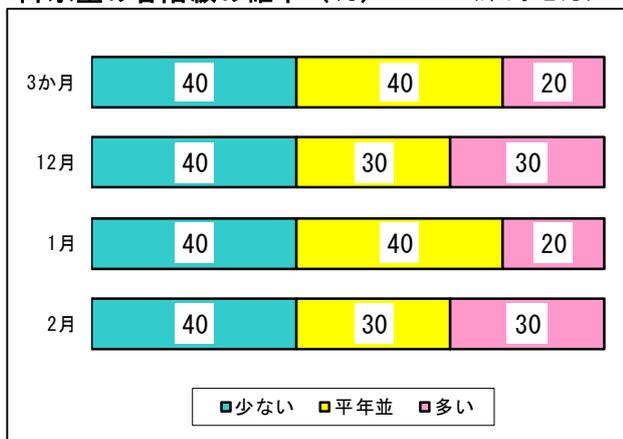


同様に、12月から2月までの月別予報は、下図左のとおりです。

ここでは、降水量の各階級の確率に応じて、それぞれの予報を下図右のように±5段階の等級に区分することとします。

この結果、降水量は、3か月全般で[-2]、12月は[-1]、1月は[-2]、2月は[-1]となります。

降水量の各階級の確率 (%) (東海地方)



各階級の確率と等級 (東海地方)

降水量	等級	予報確率	3か月	12月	1月	2月
多い	+5	: :70				
	+4	: :60				
	+3	: :50				
	+2	20:40:40				
	+1	30:30:40				
平年並	0					
	-1	40:30:30		●		●
少ない	-2	40:40:20	●		●	
	-3	50: :				
	-4	60: :				
	-5	70: :				